

# 2016年版ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止神奈川県協議会 横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A

TEL 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577 Mail- kana-gensuikyo@gol.com 発行日：2015.10.28. No. 1

## 戦後70年 受け継がれる平和の思い

今年も“ちひろカレンダー”の普及活動が始まりました。

1 2月までの2ヶ月間です。

今年は、戦後70年、被爆70年です。安倍政権は、この年に戦争する国づくりのため戦争法を強行成立させました。これに多くの人がこの暴走に怒りを広げ、改めて戦争と平和、核兵器、愛と民主主義について考える人が増えています。

こんなときだからこそ、いわさきちひろさんの「優しく透明な絵に込められた子どもへの限らない愛」

「1枚の絵に命の大切さ、平和への思い」が注目されちひろカレンダーの新たなファンが増えています。

「子どもへの限らない愛」は、いま私たちに求められているもっとも大事なもののひとつです。今、ちひろカレンダーを多くの人、若い世代に広げ、新しい“ちひろファン”をたくさん作りませんか。

これまでのファンのみなさん、回りの人に広げてくださるようお願いします。

平和と子どものしあわせのために。

### 技術だけじゃない愛を感じる

親子3代のファンです。母が、ちひろさんの絵が好きで、絵本をよく読んでくれました。母は、整理好きなのに、ちひろさんの絵が表紙の雑誌『子どものしあわせ』は捨てられないと言っていました。

私の『サラダ記念日』には、こんな歌もあります。

二階から見る母の傘ぽつと赤

いわさきちひろの絵になっている

ちひろさんの絵には、技術だけじゃない子どもへの愛情を感じます。自分が子どもを産んでからは、ちひろさんが赤ちゃんを、生後何ヶ月か、違いを描き分けていると納得しました。



私の一番のお気に入りには『りゅうのなみだ』です。息子にも、いろいろ読んでやりました。すると息子は、絵本の人物としゃべるんです。竜に話しかけていましたね。

『戦火のなかの子どもたち』も印象深く、子どもの表情に胸がしめつけられます。

歌人 倭 万智さん

たわら・まち=1962年生まれ。87年、第一歌集『サラダ記念日』がベストセラーに。翌年、現代歌人協会賞を受賞。近著に『旅の人、島の人』など

(しんぶん 赤 旗 日曜版(2015年5月31日号)より)

### 今年も、被災地の仮設住宅にちひろカレンダーを贈ろう!

東日本大震災・福島原発事故から4年7ヶ月が経ちました。事故後の復旧・復興は遅れ、依然、我が家に戻れない人は10万人を超えています。仮設住宅で生活している被災者は、避難生活4年の中で、先の見えない不安と絶望の中にいます。最大の責任は東電と政府です。一日も早い復旧・復興のために私たちは、さらに運動を強めなければなりません。同時に今できることとして、今年も仮設住宅の皆さんに「ちひろカレンダー」を届けます。多くの方の募金への協力をお願いします。一口1000円を目安に多くの方に募金を

昨年も多くの方々のご支援で、ちひろカレンダーを5100本普及していただきました。今年は、さらに輪を広げ6000本に挑戦したいと思っています。まわりの人に、「あなたの部屋に愛と平和のちひろカレンダーはいかがですか?」と声をかけ、広げてくださいます。そのことが、財政面から原水禁運動を支えることになります。お力添えをお願いします。

6000本の普及を